

# 提携米通信

2010年10月号・黒瀬農舎発



## 稲刈りが始まりました。

～予想外の不作のようです～

今年は全国的に「灼熱地獄」並の長くて暑い夏でした。

稲にとっては、日中の気温は高く、夜は低いのが理想ですが、この夏は北国の秋田でも寝苦しい夜が続くという悪条件でした。

私たちの地域の稲刈りは、早生のモチ米では、例年よりも少し早目。「あきたこまち」は平年並みで、早い人では9月25日頃に収穫作業がスタートしました。

その人々から「今年は予想外の不作」という嘆きの声が一杯です。

新潟や山形など東北各地の知人に聞いてみると、刈り取りの進むに従って、平年よりも15～20%近くも減収していることが、だんだん判ってきたとのこと。

先月に農水省が発表した9月15日現在の「今年は平年作」という、収穫前の作柄予想は大きく外れそうです。

また、今年の「不作」は、冷害による不稔や台風被害、ウンカやイモチ病など病害虫の激発被害を原因とする従来不作年と異なって、田圃は、素晴らしい黄金色に染まり、見た目は「大豊作」。ところが「刈り取ってみると収量がない。」という、今までに経験したことのないパターンで、皆んな「狐に化かされたようだ。」と言っています。これは当地秋田だけでなく米処である東北の日本海側に共通しているようです。

今年の天候を振り返ってみると、6月までは手ひどい低温に悩まされ、その後は「灼熱地獄」。人間もくたびれた異常気象。稲にダメージが出るのは当然なのでしょう。

我が農舎の場合は、稲刈りがスタートしたばかりで、正確には判りませんが、皆さんへのお届けに支障はないと予想しています。また、お米の見栄えや味は最高とは言えないまでも「悪天候にしては、好い」ようでホッとしています。

引き続きお米の消費拡大による我が農舎へのご支援をお願いする次第です。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・喜多

TEL 0185-45-3086 FAX 0185-45-2687



☆年々お米の消費量は減少しています。新米時期にはご進物や、お歳暮などにも、お米のご利用を宜しくお願い致します。

E-mail : akita@kurose.com <http://www.kurose.com>

## 18回目のブナ植えにご参加下さい。

11月3日の文化の日恒例のブナの植栽は、今年で18回目となります。



今年も、例年同様に文化の日に行きますので都合のつく方は是非ご参加下さい。

また、毎年植栽の集いへの参加やカンパなどのご支援ありがとうございます。

ブナ植えは、私たちの田圃や飲料水の源泉の「八郎湖」に注ぐ「馬場目川」の源流部の国有林の一部を借りて行っています。

この国有林は、戦後から30年前にかけて、太古からのブナ林が皆伐され、一面が

杉の造林地になりました。その結果、地域の古老によると、昔の馬場目川は、一年中、豊かに水が流れていたが、ブナが伐採されてから夏場には水が涸れ、流域の田圃が水不足に困ることが数年おきに起こるようになった。と言います。

ブナは、降った雨を蓄え、年間を通して下流を潤す偉大な力を持っている「緑のダム」そのものなのです。

数年前からは、第3植栽地に植えています。第1植栽地や第2植栽地のブナは大きく育って、すでに「ブナの森」の風情も感じられるようになりました。

でもこの小さなブナの森では、水涸れを防ぐには遠く及びませんが、環境や食の安全についての関心が地域の人々に年々高まってきたという効果を生んでいます。

上の写真は、初雪の日となった昨年の17回目のブナ植えの開会式のスナップです。

右の写真は、毎年夏場に行っているブナ植栽地の下刈り作業風景です。



### ブナ植栽の集い参加要領

日時：11月3日 9時半～午後3時

当日参加：JR八郎潟駅にブナ植え会場行きのバスが9時に迎えに参ります。

前日より参加：黒瀬農舎ロッジに午後15時に集合下さい。ロッジにて前夜祭、交歓会。

ロッジ泊。翌朝ブナ会場へマイクロバスで。

参加費用：原則無料（ブナ券カンパをお願いします。）ロッジ宿泊は500円。前夜祭の食事など無料。（ロッジ利用者は、前後日の連泊も可能です。）

（参加頂ける方は、当日参加も含めて予めご予約をお願いします。）

その他：飛行機の場合は早割を早めに手配下さい。65歳以上の方は、片道12000円の当日シルバー割引（シニア空割）利用がお得。東京からは夜行バスが片道4600円からあります。ロッジ定員オーバーの時は有料宿泊所の斡旋となります。

◎ブナ券購入によるカンパのご協力も宜しくをお願いします。（1口千円）